

低環境負荷型ワイヤロープ

環境に配慮したいが製品がない。環境に配慮するための高いメンテナンスコストを低減したい方々へ

ワイヤロープも環境に優しい製品に換えませんか。

環境に負荷を与えない”低環境負荷型”であることは”従来品より劣化が早い”→”メンテナンスが大変（コスト高）”と認識されていました。

そこで、食品製造機械の防錆、潤滑用に使われているグリースに着目し、環境への負荷が小さく、自然界で分解しにくい鉱物油系グリース”スミルブGR”をワイヤロープの内部から塗布することで、耐久性が従来製品と変わらない低環境負荷型ワイヤロープを開発しました。

このグリースは、従来のグリースとほぼ同等の防錆性、潤滑性、耐久性を有しており、メンテナンス性も同等です。

また、ワイヤロープ鋼材自体は従来製品を使用しておりますので、強度についても従来品と同等です。

特に環境に配慮が必要な、漁業関係、船舶・港湾関係、水門設備 等に推奨致します。

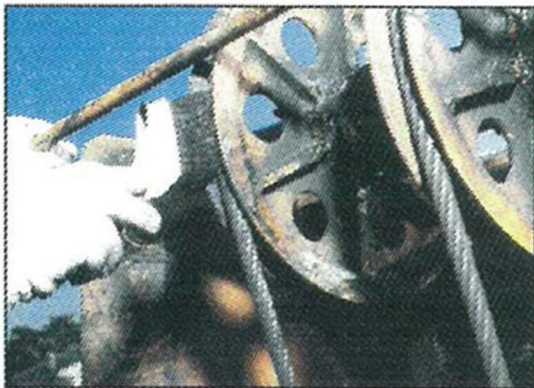
特徴

偶発的に食品と接触することが許諾される製品であり、魚類急性毒性試験にてLD \geq 50以上を確認されたグリースを採用しており、低環境負荷です。

グリースには付着力があり、油分のたれ落ちが少なく、周辺を汚しません。

グリースには撥水性があるため、雨水により流れ落ちにくく、ロープを外部環境から保護します。

浸透性があり、柔らかいグリースであり、冬場でも塗布が容易です。



特許出願申請中

※ スミルブGRについて

「偶発的に食品と接触することが許諾される潤滑剤」としてNSF“H1”※に登録されており、一般的な潤滑剤と比較して人体や環境への影響を考慮した”スミルブGR”を採用しております。このワイヤロープグリースは米国食品医薬局（FDA）で認められた流動パラフィンをベースにアルミニウムコンプレックス石けんで増ちょうした製品です。急性毒性試験にてLC \geq 50であることを確認しております。

※ 魚類急性毒性試験

化学物質を一定の割合混入させた水（被験物質）に、魚類（主にヒメダカ）をいれ、96時間暴露したのち、死亡率を測定することにより、被験物質の毒性を明らかにする試験であり、これをもって急性毒性の強さの比較を行います。一般には、50%の被験動物が死亡する用量（LD50）が指標とされております。

※ NSFについて

NSFは、国際的にも認められた食品機械、講習安全衛生に基づく第三者認証機関で、非営利団体です。半世紀以上にわたり各業界、政府関係者及び関係団体と協力して公衆衛生に係わる基準を制定し、これらの基準をもとに製品の認定・検証・検査及び登録をしています。また、食品衛生・食品機械及び飲料水の安全性を熟知していることから、世界保健機関・WHOの食品衛生協力センターとしてサポートもしています。

●低環境負荷型ワイヤロープに関する問い合わせ

三菱重工鉄構エンジニアリング株式会社

本社・広島工場
プラント事業本部・東京本社
千葉工場

広島県広島市中区江波沖町5番1号（三菱重工工業棟内）
神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号（三菱重工ビル内）
千葉県富津市新富33番地2

TEL:082-292-1111/FAX:082-295-0711
TEL:045-200-8780/FAX:045-200-6500
TEL:0439-88-6681/FAX:0439-88-6682

この星に、たしかな未来を

●メンテナンス用潤滑材”スミルブGR”に関する問い合わせ



<http://www.sumico.co.jp/>

▶本社・163-0575 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル TEL(03)3344-6835
▶支店・営業所・出張所 東京(03)3344-6804 大阪(06)6344-0171 名古屋(052)963-2368 札幌(011)281-7255
仙台(022)237-1231 北陸(076)223-3575 中国(082)221-2783 四国(0877)49-6751 九州(092)411-7200

SUMICO LUBRICANT CO., LTD.
住鉱潤滑剤株式会社

ECO-GREASE 販売元/

株式会社セレソン

〒458-0834 名古屋市長区鳴海町前之輪214-2 TEL052-622-0368 FAX 052-623-3424 <http://www.myfavorite.bz/celeson/>